

場所



基本情報

R7.3.31現在

- 人口：2,621人 ■世帯数：1,279世帯
- 面積：267.91km²（人口密度 10人/km²）
- 主な地域内の移動手段：
自家用車、電車、村営バス、デマンドタクシー

特徴

地理・交通

鉄道：東京から250分、名古屋から240分、大阪から310分。
車：高速道路利用で、東京から260分、名古屋から240分、大阪から360分。

気候
(冬の様子)

- 近年は暖冬の影響もあり雪の少ない年もありますが、最深積雪は180cm。週に数回は雪かきが必要。
- 車を持つならスタッドレスタイヤが必須！

名物

- 果物のさるなし・野菜の雪中キャベツ・山で放牧された小谷野豚！栄養も満点でとっても美味。
- 冬季パラリンピック3大会に出場の井口 深雪（旧姓：小林）さんの出身地。

PRポイント

- 四季折々の自然の恵み・じいちゃんばあちゃん達の昔ながらの生活の知恵・近所からやって来た美味しい野菜がたっぷり並ぶ食卓・人と人とのあったかい繋がりがここにあります。当日は、3歳の娘を子育て中の移住定住促進支援員が、「ありのままの小谷の子育て事情」をお伝えします！！

移住の取組

移住支援制度

- 住まいの支援…中古住宅取得補助金100万円、新築取得補助金200万円
- 転入時に村内の提携店で使用できる商品券を一人当たり1万円分贈呈
- UIターン就業・創業移住支援補助金

担当からのメッセージ

- 移住の不安を解消するため、徹底サポートします！
- 充実した移住支援制度もありますので、詳細はぜひお問い合わせください。事前予約制でオンライン相談も実施しています。

連絡先

【小谷村役場 地域づくり振興課 地域づくり振興係】

電話：0261-82-2589

小谷村移住情報提供サイト →

E-mail：iju@vill.otari.lg.jp



--- 正真正銘の大自然がここにある ---

国立公園を村内に2つも有する小谷村

中部山岳国立公園



柵池自然園

標高1,900mに広がる
高層湿原

白馬岳

車で30分

後立山連峰の最高峰
白馬大雪渓は日本最大規模

八方尾根

車で20分

高層湿原やコケモモなどの
高山植物、高山蝶がみられる



妙高戸隠連山国立公園

雨飾山

日本百名山
神話時代の
伝説が残る



山の麓には

里山の 伝統・文化・技

を学ぶフィールドがすぐ傍にある

原体験/本質的な生きる術/自然学/共生/自尊感情



昔ながらの

“近所に見守られながらの子育て”

みんなで大自然を満喫するほっこりコミュニティ

“お散歩会”

その他子ども向け体験イベントも充実！！



小谷っ子の 英語教育は 保育園年長組から

近年は外国人観光客が多く訪れる小谷村。押し寄せる国際化の波に対応すべく、幼少より英語に慣れ親しんでもらうことを目的として、保育園、小学校、中学校で無料の「公営おたり塾-英語-」を開催しています。

日本人講師とネイティブ講師が中心となってアクティビティを行いながら、楽しく英語を学んでいます。

中学2年生で 台湾・ニュージーランドへ 海外研修

国際感覚豊かな人材育成をめざし、中学2年生学年全員で台湾を訪れ現地の中学生と交流学習をおこないます。

選考で選ばれた希望者は、姉妹都市ニュージーランド・マールボロ一地区を訪れ、ホームステイや現地の学校の授業を受講したり、酪農体験を通し学びを深めます。



雪国・小谷村ならではのユニークな支援として好評なのが

スキー場シーズンリフト券の貸与

幼い頃から大自然の中で雪と触れ合い、スノースポーツを通じて豊かな感受性を育むことができます。



📍 長野県小谷村

#14 家族が気づいた「本当の贅沢」 小谷村移住で叶えた心穏やかな子育て

体験談

🕒 2026/1/6 (火)

移住情報ポータルサイト「ワープシティ」でも“小谷村の子育て”を掲載中

移住者プロフィール

新宅 薫さん

出身地：島根県出雲市、居住地：長野県小谷村、移住時期：2020年、家族構成：3人家族、



子育て移住には、家族それぞれの想いや選択があります。

「自然に囲まれた場所でのびのび育てたい」「地域とのつながりを大切にしたい」「子どもの個性を尊重できる環境で暮らしたい」——きっかけも、目指す暮らしも十人十色です。

この連載では、子育てをきっかけに地方へ移住した方々のリアルな声を通して、移住先で見つけた“新しい日常”と“家族のかたち”をお届けします。

↓サイトへはこちらから↓



目の前に広がる大自然

山では虫を捕まえ、木に登り

冬はみんなで雪合戦

いっぱい遊んでおつきくなあれ

雄大で美しい3,000m級の北アルプスの麓に広がる小谷村は、山深い大自然に囲まれた、人口3,000人ほどの小さな村です。

そんな小谷村には、都会の暮らしで忘れてしまいがちな人のぬくもりや地域の絆が今も色濃く残っています。

道を歩けば地域のおじちゃんやおばちゃんの声をかけてくれ、地域とつながり見守られながら子育てをすることが出来ます。また、まわりを見渡せば山や小川、冬には真っ白な雪など、子どもたちをわくわくさせる遊びのフィールドがたくさん

二度と戻ることのない子どもたちの時間をそんな自然いっぱいの環境の中で過ごしませんか、まずは、そんな小谷村の子育てをぜひのぞいてみてください。



山と溪谷オンライン

縁結び大学
En-Musubi University

二拠点・移住ライフ大学

